

# 委員からの主な指摘事項について

国土交通省鉄道局

# 整備新幹線小委員会(第1回、第2回) 主な指摘事項

	指摘事項	指摘事項への対応
投資効果・収支採算性	・計算過程等、詳細な部分については、専門の委員(岩倉委員、兵藤委員)に確認して頂いた上で、委員会で議論してはどうか。(家田委員長)	・委員長提案のとおり対応する。 ⇒第4回小委員会での対応
	・GDPの設定方法が妥当か確認が必要。(山崎委員)	・政府の経済財政の中長期試算との比較も含めて説明する。 ⇒資料4①参照
	・建設費の算定は信頼性があるのか。既開業の実績を確認したい。また、事業費の時系列的な配分に工夫の余地はないのか。(山崎委員)	・想定している事業ペースについて説明するとともに、過去の実績を踏まえた建設単価を説明する。 ⇒資料4②参照
	・最高速度を260km/hで計算しているが、新幹線は現在でも国内、海外で300km/h以上で運行している。設計速度について見直すべきではないか。(家田委員長、廻委員)	・事業評価としては260km/hを前提とするが、速度向上した場合についても試算する。 ⇒資料4③参照
	・青函共用走行区間を260km/hで走行する場合についても検討すべきではないか。(中村委員)	・事業評価としては青函共用走行区間の速度は140km/hを前提とするが、260km/hに速度向上した場合についても試算する。 ⇒資料4③参照
その他	・ヒアリングを行う等、幅広い意見を集めるべき。(家田委員長)	・経済関係の有識者等に対しヒアリングを実施。 ⇒第3回～第5回小委員会での対応
	・沿線の地域政策、まちづくりの状況を確認すべき。(家田委員長)	・沿線自治体のまちづくりの状況を調査する。 ⇒資料2参照
	・北陸新幹線の「敦賀駅での乗換抵抗をゼロにした場合」とは、どのようなケースが考えられるか。(廻委員)	・フリーゲージトレインを導入した場合について、技術開発状況等を含めて改めて説明する。 ⇒第1回、第2回小委員会にて説明
	・過去の貨物列車の事故や安全対策等について教えてほしい。(家田委員長)	・JR貨物に対しヒアリングを実施。 ⇒第4回小委員会での対応